

四之宮 公民館だより 7月号

平塚市四之宮3-20-26

電話 55-0655

FAX 54-8255

ホームページは

地図は
こちら→



平塚市立四之宮公民館

と検索

地域の情報は

四之宮ふれあい便り

と検索



夏休みは 公民館へ 大集合!!



次の4講座の申込みは7月16日(火)午前9時開始 電話 55-0655 (四之宮公民館)

陶芸 教室

日時: 8月2日(金) 午後2時30分から
場所: 公民館 集会室
講師: (有)岡村工房 代表 岡村友太郎 様
協力: 楽窯会(公民館利用団体)
参加費: 800円(材料代・当日徴収)
募集人数: 30人(小中学生および保護者)



だるま 教室

自分だけのオリジナルだるまを作っちゃおう!
耳・しっぽ・目玉? をつけたり、色も自由自在!



日時: 8月7日(水) 午前10時00分から
場所: 八幡公民館 大ホール ※四之宮公民館ではないのでご注意
講師: 荒井 星冠 様(荒井だるま屋 代表)
参加費: 800円(材料代・当日徴収)
募集人数: 15人(小中学生対象)(保護者の付き添いは可)

9月に展示会を開催予定! (市役所1階多目的ホール)

※作品のお渡しは展示会後になります

チョークアート 体験教室

日時: 8月8日(木) 午後2時から
場所: 公民館 中会議室
講師: Wonder Pastel(公民館利用団体)
参加費: 500円(材料代・当日徴収)
募集人数: 10人(小中学生および保護者)



下絵があるので、
どなたでも
気軽に楽しめます!

世界中のお金(コイン)にふれてみよう ～ ユニセフ外国コイン仕分け体験 ～

日時: 8月9日(金) 午後1時00分から
場所: 公民館 集会室
共催: 神奈川県ユニセフ協会
参加費: 無料
募集人数: 親子7組(子は小学生対象)
持ち物: ゴム手袋または軍手、飲み物



ユニセフへ募金された世界中のコインを仕分けし、
募金がどのように使われるかなどを知り、
海外の子どもたちへの関心を持ってもらう機会とします
※ユニセフでは外国コインの募金も受け付けています

みんなの

夏休み 図書室

毎年恒例！公民館の一室を図書室として開放します

期 間：7月20日（土）～ 8月28日（水）（夏休み期間）

時 間：午前9時～午後5時

場 所：公民館 談話室

その他：事前申し込みは、必要ありません。本の貸し出しもできます。



協賛企画

夏休みの宿題する会

夏休みの宿題完成のお手伝いをします 【国語(主に漢字)・算数】

日 時：7月20日～8月28日の間の毎週土曜日 午前10時～正午

場 所：公民館 いこい室

協 賛：四之宮地区福祉村

費 用：無料 持ち物：夏休みの宿題・筆記具

その他：事前申し込みは必要ありません



平塚市東ブロック公民館(大野・八幡・四之宮・中原・松が丘・大原・南原)共催事業・家庭教育学級

親子で星空観察会 ★三

望遠鏡で見る
星は大迫力！

～夏の夜空を天体望遠鏡&プラネタリウムで見てみよう！～

天体望遠鏡をのぞき込むと、毎日見上げている夜空とはまったく違う、感動モノの世界が広がっている！

星座はどうやって形が作られているんだろう？

博物館学芸員さんの解説付きプラネタリウムで星空をもっと楽しもう♪



日 時：令和6年8月22日(木) 19:00～20:30

場 所：平塚市博物館

内 容：天体望遠鏡による星空観察およびプラネタリウム鑑賞

(曇天・雨天は プラネタリウム鑑賞のみ)

募集対象：四之宮地区在住の幼児・児童・生徒および保護者

募集人数：各館10人 先着順(※7公民館合計で定員70人)

(※保護者の膝の上に座れる幼児については、定員に含めません。)

参 加 費：無 料

申 込：7月23日(火)から8月7日(水)までに四之宮公民館まで(☎55-0655)

(※定員となり次第、受付を終了いたします)

そ の 他：☆当日、博物館屋上へ上がる手段が階段のみとなります。

☆プラネタリウム内では飲食ができませんのでご注意ください。



四之宮地区平和祈念祭

日 時：令和6年8月15日(木) 9:00～

場 所：前鳥神社内 殉国碑前

この祈念祭は、「永く平和を祈る場」として、遺族会・自治会連合会・氏子会・社協・明寿会等が無宗教の形で実施しております。一般参加可能です。ぜひ献花に参加してください。

シニア学級

カムカム教室お口元気プラス+

お口の元気はからだの元気！楽しくオーラルフレイルを学ぶ講座です

- 日 時 第1回 8月27日（火曜日）14時
（全2回） 第2回 10月22日（火曜日）14時
- 場 所 公民館 2階集会室
- 対 象 四之宮地区在住の概ね65歳以上の方で
全2回の両方に御参加いただける方
- 参加費 無料 ■募集人数 25人(先着順)
- 申込み 55-0655 (四之宮公民館) (8月16日(金)まで)
- 問合せ 平塚市保険年金課 資格給付担当
電話：72-7266（直通）



予告

夏休みの最後は公民館へGO！

かき氷



四之宮歴史
かるた大会



SSS

四之宮 スペシャルサマー

in 四之宮公民館

8月24日（土）10時～13時

射的
コイン落とし



囲碁
ボール



サマービンゴ

※詳細は8月号でお知らせします

ポップコーン



お菓子すくい
お菓子釣り



交通安全協会四之宮支部からお知らせ

通学時の旗振り誘導の注意事項

- ・信号がある場合は、信号に従いましょう
- ・複数で行うときは、連携して行いましょう(お互いに声をかけあう、動作を確認し合う等)
- ・車が完全に止まったことを確認してから児童を横断させましょう
- ・横断旗が人や車に当たらないよう注意しましょう
- ・停止してくれた運転手に対して、軽くお辞儀をする等、感謝の気持ちを表しましょう



旗振り誘導の動画
YouTubeで配信!!



♪ 子育てるんるん ♪

日時：7月15日(月・祝) 10:00～11:30 公民館集会室
内容：スイカ割り&おさかな釣り
夏の風物詩、スイカ割りをします(〇)v おさかな釣りもあるよ！
海の日祝日なので、パパや幼稚園のお兄ちゃんたちも来てね～
※8月のるんるんはお休みです



社会福祉協議会 ふれあいサロン

日時：7月15日(月・祝) 13時～
場所：公民館 集会室
内容：ユースマイルによる
歌唱・演奏・マジックショー
※8月のふれあいサロンはお休みです。



第25回四之宮地区ふれあい夏まつり大会 のお知らせ
令和6年8月3日(土)～4日(日) 大野小学校校庭



四之宮地区福祉村からのお知らせ

7月の福祉村は、次のとおり実施します。どのサロンも楽しく、和気あいあいに活動しています。お気軽にご参加下さい。お待ちしております。

開村日：毎週 月・火・水・土曜日（祝日は休村）

場所：公民館 いこい室

開村時間：AM 10:00～12:00 PM 1:00～3:00

TEL：55-0750

手芸

7/1・8・22・29
いずれも(月)AM

ゴム体操・コグニサイズ

7/3・17・24・31
いずれも(水)PM

歌声サロン(三味線)

7/16(火)PM

小中学生への学習支援

7/6・13・20・27
いずれも(土)AM

7月サロンのご紹介

スカットボール

7/16(火)AM

臨床美術

7/3(水)AM

園芸クラブ

7/9・23
いずれも(火)AM

吹矢体験

7/1・8・22
いずれも(月)
9:30～

囲碁ボール

7/10・17・31
いずれも(水)AM

お茶席をたしなむ会

7/8(月)PM
8月はお休み

四之宮まめ知識「四之宮 あれそればなし その19」 記事提供：四之宮郷土史同好会

御林（おはやし） その2

御林守の職務は、御林の見張りだけではなく、幕府御用達の木材の伐り出しとその輸送もおこなっていました。

更に、松の苗木の仕立て・苗木の植え付け・枯れ木・風や雪で折れた木の処理・若木の保護等が主な役割でした。

苗木の植え付けは村民に負わされ、村民にはその代償として下草、落葉、枯枝を払い下げられました。特に厳しい時期は、八代將軍主君（幕府）の元文年間（1736～1740）頃の一時期で、立枯木・風折木・雪折木・曲り木等の払い下げは地元民にはされず、江戸城内の薪として使われました。

荷造りした薪は、須賀まで運び、海上を舟便で江戸まで運びました。一方、材木にする木は、幕府の命令で伐採され、江戸城の修理や江戸の主なる寺社の普請用材として使用されました。

また、東海道筋の道路・河川・橋梁などの土木工事にも使用されました。

幕末期には、江戸城・西の丸の普請用に⁴¹⁶本、黒船来航の折には、品川お台場普請用材とし⁵⁴⁸本がそれぞれ伐採されて須賀から江戸へ海上輸送されました。



中原・日枝神社の松

これらはいずれも樹齢150年以上の松材でした。伐採や輸送には御林周辺の枝も薪用に賣えなかつたにもかかわらず、地元の農民が連日総動員されました。明治維新後の御林は、御殿跡地と共に幕府領であったために、明治新政府によって接收されて皇室財産となり、帝室林野局の管理になりました。そして明治二十一年（1888）にはその大部分が横浜開港以来、横浜の発展に功勞のあつた高島嘉右衛門（1822～1914）に払い下げました。

その材木と枝葉は、東海道線の敷設に使用する煉瓦を焼く燃料にするという名目で残さず運び出してしまいました。

伐採した跡地は、遠州相良現静岡県の早野氏が国の林野局から借用支配し、住民に又貸しをして開墾させたり、秘密に土地の払い下げもしました。

また伐採地には後に苗木も植えられず、伐採跡地とその付近の田畑は御林植林前の荒地と同様になりました。このことは、歴史や土地を知らない役人とその虚を付け込んだ利権屋が御林を無くしてしまったのです。

荒地地化や地元が無関係な人の利権に対し地元の人達が訴訟を起こして、地元の人が借用し支配できるようにしました。

御林で最も広大な所は現在の総合公園とその周辺で明治三十八年、英国系資本の火薬製造会社のアイムストロング社後の海軍火薬廠が三十八町歩（約38ヘクタール）を使い、残りは元御林守と地元の人に払い下げられました。

現在は御林の代わりに、家や舗装道路が砂丘の砂の飛散を防いでいます。

「御林」は平成二十六年九月と十月の公民館だよりで大野誌から紹介しましたが、平塚史好会の「中原御殿」御林の管理が地元民にとっては、あまりにきびしいものでしたので再度掲載させていただきます。

※参考・中原御殿（平塚史好会・大野誌）

四之宮郷土史同好会
ホームページ
一宮元バーコード

